

古命倏忽爲遠延。及御軍皆遠延而伏。遠延二以音

〔古事記傳 十八〕遠延は、書紀に瘞と書り、瘞は、字書に、又景行卷に、度信濃坂者多得神氣、以瘵臥オエフシキ

引て和名抄に、瘵臥、和名字江不世、仁德卷に、被蛇毒而多死亡、欽明卷に、毒害ヲヤシツコナヒなどあり、又景行卷

に、吉備穴濟神、及難波柏濟神、皆害心以放毒氣、令苦路人と見え、倭建命の伊服岐山神に惑され

賜ひしなど、皆同類の事なり、

〔日本書紀 神武〕戊午年六月丁巳、至熊野荒坂津。略中時神吐毒氣、人物咸瘵。オエス

〔日本書紀 景行〕四十年是歲。略中於是日本武尊曰、蝦夷凶首咸伏、其事唯信濃國越國頗未從化。略中

度信濃坂者、多得神氣、以瘵臥。オエフセリ

〔倭名類聚抄 瘵〕瘵 釋名云、瘵、餘兩反、和、揚也、其氣在皮中、欲發揚、使人搔發而揚出也、

〔箋注倭名類聚抄 瘵〕那波本脫與養同三字。略中原書發揚上有得字、按說文無瘵有蟬、云搔蟬、禮記

內則、瘵不敢搔、玄應音義引、作蟬不敢搔、知蟬瘵古今字、蓋蟬字俗變、虫从疒、作痒、或諧養聲、作瘵、與

說文訓瘡也、痒字不同、玉篇、痒痛痒也、瘵同上、又作蟻、見醫心方引小品方、

〔增補下學集 上二〕瘵カユシ

〔伊呂波字類抄 瘵〕瘵、カ、愉、同、瘵、痾、同

〔萬葉集 六〕繁卷裳湯湯石恐石住吉乃荒人神船舳爾、牛吐賜、付賜將島之埼前、依賜將磯乃埼前、荒

浪、風爾不令遇、草菅見身疾不有急、令變賜根本國部爾、

〔萬葉集 十三〕柿本人麿歌集歌曰、

葦原水穗國者神在隨事舉不爲國雖然、辭舉叙吾爲言幸眞福座跡、恙無福座者荒磯浪有毛見登、百

重波千重浪爾敷言上爲吾、略反、

〔倭訓栞 前編 十六〕つ、か 恙字をよめり、萬葉集には多くつ、みとよめり、又つ、まはずともは